

プラチナ再生可能エネルギー産業イニシアティブ

概 要

一般社団法人プラチナ構想ネットワーク
2025年8月

再生可能エネルギー産業イニシアティブが目指すもの

化石燃料に依存する文明からの転換

2050年カーボンニュートラルの実現には、脱炭素エネルギーへの転換が不可欠である。
化石資源依存率が高い日本を脱炭素化し、持続可能な地球の実現で世界をリードしていく。

国内資源によるエネルギー自給の実現

日本を再生可能エネルギー主体のエネルギー需給構造に変革し、エネルギー供給を国産化する。
それがエネルギー安全保障の強化にも結びつく。

再生可能エネルギーの迅速な実装

2050年のエネルギー需給ビジョンの構築とそこに向かうプロセスを設計。
並行して迅速に実装し、日本のグリーントランスフォーメーション(GX)を推進する。

本イニシアティブが目指す成果

1 「2050年ビジョン」の確立

再生可能エネルギー産業の理想的な将来像を描き、国民・企業・政府に広く共有・啓発する。

2 必要な施策の特定

社会実装やビジネスモデル構築に不可欠な規制改革・新法整備の方向性を明確化し、推進体制を構築する。

3 政策提言の策定

2050年ビジョンへの移行ロードマップに沿って、政府に期待する役割・政策課題を整理し、実効性のある提言を行う。

4 早期実装の加速

ビジョンやロードマップの完成を待たず、方向性に合った先導的な取り組みを迅速に実行する。

本イニシアティブのポイント

ポイント	内 容
前提	・2050年の総エネルギー需要は2,000TWhと想定し、その80%(1,600TWh)以上を国内の再生可能エネルギーで供給する。 (数値は今後の検討に応じて随時見直す)
アプローチ	・2050年のビジョンを定義し、バックカスティングアプローチで必要な行動を導き出す。 ・2050年の到達点だけでなく、それに至る過程も検討する。
技術	・現実的な予測や達成可能な技術進歩をもとにビジョンを構築する。 (核融合など不確実性の高い技術は検討対象としない) ・2050年時点での化石燃料技術の残存可能性についても考慮する。
法体系整備	・省庁の縦割りを超え、国内市場の成長を支える法体系を整備する。
実装戦略	・技術、法制度、社会システム、ビジネス・出資モデルを含めた統合的な社会実装を目指す。 -国民の投資を国内再エネとエネルギー自給に向ける。 -第一次産業事業者や地域エネルギー企業への資金流入を促す。 -初期費用を抑えるため、高効率エネルギーシステムの法人所有と共同利用を支援する。

ステアリング・コミッティ

本イニシアティブにおける議論の全体的方向性と分科会の方針を検討

全体的方向性・方針



検討結果

分科会

ステアリング・コミッティで決定した方針に従い、それぞれの分科会で議論を深める

需要分科会

2050年におけるエネルギー需要の検討

供給分科会

2050年の再生可能エネルギーの設備容量と年間発電量の検討

需給安定化分科会

需給安定化に資する仕組みを検討

コンセンサス分科会

再エネ事業の成功事例や課題を踏まえ、施策・規制緩和への反映を検討

本イニシアティブの活動経緯と今後の展開

これまでの活動（2023年12月～2025年5月）

- 2023年12月** 企画説明会を開催。
-ステアリングコミッティおよび分科会メンバーの確定。
-イニシアティブへの参加者募集開始。
- 2024年2～3月** ステアリングコミッティと4つの分科会を開催。今後の議論の道筋を定めた。
（分科会：需要、供給、需給安定化、コンセンサス）

今後の活動計画（2025年6月～）

- ～2025年10月** ステアリングコミッティおよび各分科会をそれぞれ2回開催し、再生可能エネルギー産業イニシアティブに関する「2050年ビジョン」を策定する。

「2050年ビジョン」の策定プロセス

1

分科会で
テーマ別に
検討実施

2

ステアリング・
コミッティで
集約・議論

3

全体像を整理し
ビジョンとして
取りまとめ

ステアリングコミッティメンバー

(敬称略、氏名五十音順)

ステアリング コミッティ	担当分科会	法人名	氏名	役 職
委員長	—	慶應義塾大学 名誉教授 / 前東京都立大学 理事長	島田 晴雄	
副委員長	—	三井不動産株式会社	岩沙 弘道	相談役 補佐:金谷篤実 執行役員サステナビリティ推進本部長
	—	東京電力パワーグリッド株式会社	岡本 浩	取締役 副社長執行役員 最高技術責任者
	—	一般社団法人プラチナ構想ネットワーク	小宮山 宏	会長
	—	東京大学	杉山 正和	先端科学技術研究センター 教授
	—	東京大学	高村 ゆかり	未来ビジョン研究センター 教授
	需要分科会	東急株式会社	村井 健二	執行役員 社会インフラ事業部長 (兼) 株式会社東急パワーサプライ 取締役社長 補佐:三井博隆 技術顧問
	供給分科会	九州電力株式会社	松本 一道	執行役員テクニカルソリューション統括本部総合研究所長
	需給安定化分科会	東京製鐵株式会社	奈良 暢明	取締役社長
	コンセンサス分科会	東京大学	大久保 達也	工学系研究科教授 総長特別参与 GX戦略推進センター センター長
—	—	中部電力ミライズ株式会社	城田 猛	ソリューション事業本部 本部長
	—	三井住友トラストグループ株式会社	高倉 透	取締役執行役社長

需要分科会メンバー

(敬称略、氏名五十音順)

分科会	法人名	氏名	役 職
リーダー (副委員長)	東急株式会社	村井 健二	執行役員 社会インフラ事業部長 兼 株式会社東急パワーサプライ 取締役社長 *補佐:三井博隆 技術顧問
サブリーダー	一般財団法人 ヒートポンプ・蓄熱センター	浅井 亨	専務理事
	日本電信電話株式会社	川添 雄彦	チーフエグゼクティブフェロー
	大日本印刷株式会社	坂田 英人	執行役員 技術・研究開発本部担当
	ダイキン工業株式会社	松田 哲	空調営業本部 副本部長

供給分科会メンバー

(敬称略、氏名五十音順)

分科会	法人名	氏名	役 職
リーダー (副委員長)	九州電力株式会社	松本 一道	執行役員テクニカルソリューション統括本部総合研究所長
サブリーダー	アイ・グリッド・ソリューションズ株式会社	秋田 智一	代表取締役社長
	五洋建設株式会社	清水 琢三	代表取締役社長
	東京大学	瀬川 浩司	教授
	清水建設株式会社	関口 猛	取締役副社長
	株式会社クボタ	辻村 克志	理事 兼 機械事業本部 ビジネスアクセラレーション部 部長 兼 イノベーションセンター ビジネスインキュベーション部 部長
	AGC株式会社	盤指 豪	事業開拓部 事業探索グループ シニアマネージャー
	戸田建設株式会社	藤田 謙	執行役員副社長
	千葉エコ・エネルギー株式会社	馬上 丈司	代表取締役

需給安定化分科会メンバー

(敬称略、氏名五十音順)

分科会	法人名	氏名	役 職
リーダー (副委員長)	東京製鐵株式会社	奈良 暢明	取締役社長
サブリーダー	一般財団法人 ヒートポンプ・蓄熱センター	浅井 亨	専務理事
	住友商事株式会社	市川 善彦	エネルギートランスフォーメーショングループ 産業横断連携・開発ユニット長

コンセンサス分科会メンバー

(敬称略、氏名五十音順)

分科会	法人名	氏名	役 職
リーダー (副委員長)	東京大学	大久保 達也	工学系研究科教授 総長特別参与 GX戦略推進センター センター長
サブリーダー	明治学院大学	亀田 達也	情報科学融合領域センター長 情報数理学部 教授
	株式会社カネカ	永野 広作	エグゼクティブ・フェロー
	1.独立行政法人 日本芸術文化振興会 2.総合研究大学院大学	長谷川 真理子	1.理事長 2.名誉教授
	千葉エコ・エネルギー 株式会社	馬上 丈司	代表取締役
	大日本印刷株式会社	三宅 徹	専務取締役